２０２７年度（４月入学）

中央大学大学院戦略経営研究科
ビジネス科学専攻

（博士後期課程）

入学試験要項

【１月選考】

一般入学試験・学内推薦入学試験

― 目 次 ―

戦略経営研究科三つの方針

（学位授与、教育課程編成・実施、入学者受け入れの方針） ・・・・・・・2

Ⅰ. 学生定員・入学募集人員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・4

Ⅱ. 入学試験の方法と日程 ・・・・・・・・・・・・・・・・・4

Ⅲ. 出願資格 ・・・・・・・・・・・・・・・・・7

Ⅳ. 出願要領 ・・・・・・・・・・・・・・・・・9

Ⅴ. 合格発表と入学手続 ・・・・・・・・・・・・・・・14

Ⅵ. 学費と奨学金 ・・・・・・・・・・・・・・・15

Ⅶ. その他 ・・・・・・・・・・・・・・・16

Ⅷ. 「研究計画書」記入上の注意 ・・・・・・・・・・・・・・・17

Ｑ＆Ａ ・・・・・・・・・・・・・・・18

【戦略経営研究科の校地・校舎の変更について】
大学院戦略経営研究科の校地・校舎は、2023 年 4 月に後楽園キャンパスから東京都神田駿河台の駿河台キャンパス（JR 線御茶ノ水駅徒歩 4 分）へ移転しました。

戦略経営研究科三つの方針（学位授与、教育課程編成・実施、入学者受け入れの方針）

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

〇戦略経営研究科（博士後期課程）において養成する人材像

博士後期課程である戦略経営研究科ビジネス科学専攻は、中央大学のユニバーシティメッセージである「Knowledge into Action」に基づき、経営戦略を中心に関連諸分野の学術的な知識を“総合”し、実践的な課題に対し適切な処方箋を示し実行できる高度専門職業人を養成します。

具体的には、企業経営者や、企業幹部（人事・マーケティング・法務・財務など）、企業の意思決定をサポートする専門職（弁護士・会計士・税理士など）、実務家研究者（コンサルタント・シンクタンク研究員）、専門職大学院の実務家教員など、学術的な知見に基づき実務に携わる人材、あるいは豊かな実務経験をもとに学術的研究を行う人材を養成します。

〇戦略経営研究科（博士後期課程）を修了するにあたって備えるべき知識・能力・態度

博士（経営管理）（Doctor of Business Administration）学位：

所定の教育課程を修め、「学術的知見に基づくマネジメント力」を身につけ、一般に経営学における経営管理の観点から、体系化された研究を実行できる知識・能力を身につけた人材に対し、当該学位を授与します。

博士（学術）（Doctor of Philosophy）学位：

所定の教育課程を修め、「学術的知見に基づくマネジメント力」を身につけ、経営管理の範囲にとどまらない学術的な研究を実行できる知識・能力を身につけた人材に対し、当該学位を授与します。

戦略経営研究科ビジネス科学専攻が想定している「学術的知見に基づくマネジメント力」とは、戦略経営に関する学術的な知見や研究方法論に関する深い理解に基づき、実務上の課題を自ら設定し解決する能力です。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

〇戦略経営研究科（博士後期課程）において展開するカリキュラムの基本構成

大学院博士後期課程ビジネス科学専攻においては、十分な研究能力が身につくような配慮を行い、講義の他に、リサーチメソッドや研究指導をカリキュラムの中核として位置づけています。

博士（経営管理）（Doctor of Business Administration）学位取得を目指すものに対しては、「学術的知見に基づくマネジメント力」を身につけ、一般に経営学における経営管理の観点から、体系化された研究を実行できる知識・能力を身につけられるように、また、博士（学術）（Doctor of Philosophy）学位を目指すものに対しては、「学術的知見に基づくマネジメント力」を身につけ、経営管理の範囲にとどまらない学術的な研究を実行できる知識・能力を身につけられるように体系的にカリキュラムを構成しています。このため、「研究指導」を中心としながらも、分析を行う際に必要な「リサーチメソッド」や、テーマ別に研究を深めるため、各分野の領域にわたる「講義（特別研究）」を配置した構成になっています。「講義（特別研究）」は、博士（経営管理）（Doctor of Business Administration）学位取得を目指すものに対しては、戦略、マーケティング、人的資源管理、ファイナンスの一般に経営学における経営管理を学ぶために必要な4分野についての講義が、博士（学術）（Doctor of Philosophy）学位を目指すものに対しては、経営管理の範囲にとどまらない学術的な研究を行う知識を身につけるために経営法務の講義が配置されています。

「戦略経営に関する学術的な知見や研究方法論に関する深い理解に基づき、実務上の課題を自ら設定し解決する能力」である「学術的知見に基づくマネジメント力」を身につけるため、研究テーマについては、現実のビジネス社会に対応できるように社会人学生が遭遇している、または遭遇する可能性が高く、その解決に学術的な知見の活用が求められる課題を選定するように指導

をしています。具体的な研究の際には、所属企業や、テーマに関連する産業分野や研究機関、他の専門職大学院などと連携した研究も実施しています。

〇カリキュラムの体系性

大学院博士後期課程ビジネス科学専攻の学位は、３年以上在学し、かつ 16 単位以上修得し、必要な研究指導を受けた上で、「博士論文」の審査及び最終試験に合格した者に対して授与します。標準修業年限である 3 年での修了を前提として、カリキュラムは以下のように体系づけられています。

・1 年次：社会人学生が、研究・論文作成を行うのに十二分なリサーチ手法をまず身につけるため、「リサーチメソッド」科目（統計学、ファイナンス統計、社会調査法、研究方法論基礎）のうち１科目２単位を選択必修としています。また、博士論文作成のための主指導教員の指導を受ける必修科目である「研究指導Ⅰ」を１科目 4 単位履修します。指導を受けたうえで、１年次修了時に博士論文のテーマに関するサーベイ報告書を提出します。

・2 年次：引き続き、博士論文作成のための指導を受ける必修科目である「研究指導Ⅱ」を 1 科目 4 単位履修します。また、年に 2 回の課程博士学位候補資格認定試験（キャンディデイト試験）が実施され、研究業績に関する出願条件を満たしたものは、試験に合格すると課程博士学位候補資格を得ることになります。

・3 年次：引き続き、博士論文作成のための指導を受ける必修科目である「研究指導Ⅲ」を 1 科目 4 単位履修し、博士論文の完成を目指します。

なお、「講義（特別研究）」については、１科目２単位を選択必修としますが、特に配当年次の指定は行っていません。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

〇戦略経営研究科（博士後期課程）の求める人材

大学院博士後期課程ビジネス科学専攻では、戦略経営に関する学術的な知見や研究方法論に関する深い理解に基づき、実務上の課題を自ら設定し解決することを目指している人材を求めています。

具体的には、

・企業で経営実績をあげており、これまでの専門性を集大成するために学術的論考を行いたいと考えている人
・経験的知識としてビジネスに関わる知識を十分に持っているが、これまで蓄積した暗黙知を理論的に整理し、学術研究・高等教育のキャリアへの移行を考えている人
・環境の変化と社会的な要請を重視しながら、実践的で応用性の高い研究に取り組みたい人
・日常的な業務において直面する実務的な課題を持ち、「学術的な」視点に基づき、「実践的な」研究を行いたい人

を想定しています。

大学院博士後期課程ビジネス科学専攻では、上述の人材像に即して入学前に以下の知識・能力を有していることが求められます。

・知識を活用し、課題の発見、解決にいたるプロセスを見つけるための論理的思考力
・論理的な思考により構築した理論を他者に理解させるための文章力
・理論・意見・主張を他者に伝え、訴えるための表現力
・海外での先行研究等を調査するための語学能力

また、上述のような人材像を想定しているため、入学時点で就業経験５年以上という出願条件を設定し、いわゆる修士新卒者（社会人としての就業経験が無い修士相当課程修了者）の受け入れは行なっていません。

Ⅰ. 学生定員・入学募集人員

研究科	専攻	入学定員	収容定員
戦略経営	ビジネス科学	12 名	36 名

※出願状況および試験結果によっては、合格者数は募集人員を下回ることがあります。
※募集人員は、一般入学試験・学内推薦入学試験すべてを含んでいます。

Ⅱ. 入学試験の方法と日程

［1］入学試験方法

「一般入学試験（以下、一般入試）」「学内推薦入学試験（以下、学内推薦入試）」の実施となります。

	一般入試	学内推薦入試
第 1 次選考	書類審査 ①志願者経歴書 ②研究計画書　　等	―
第 2 次選考	筆記試験（小論文） 口述試験	書類審査 口述試験

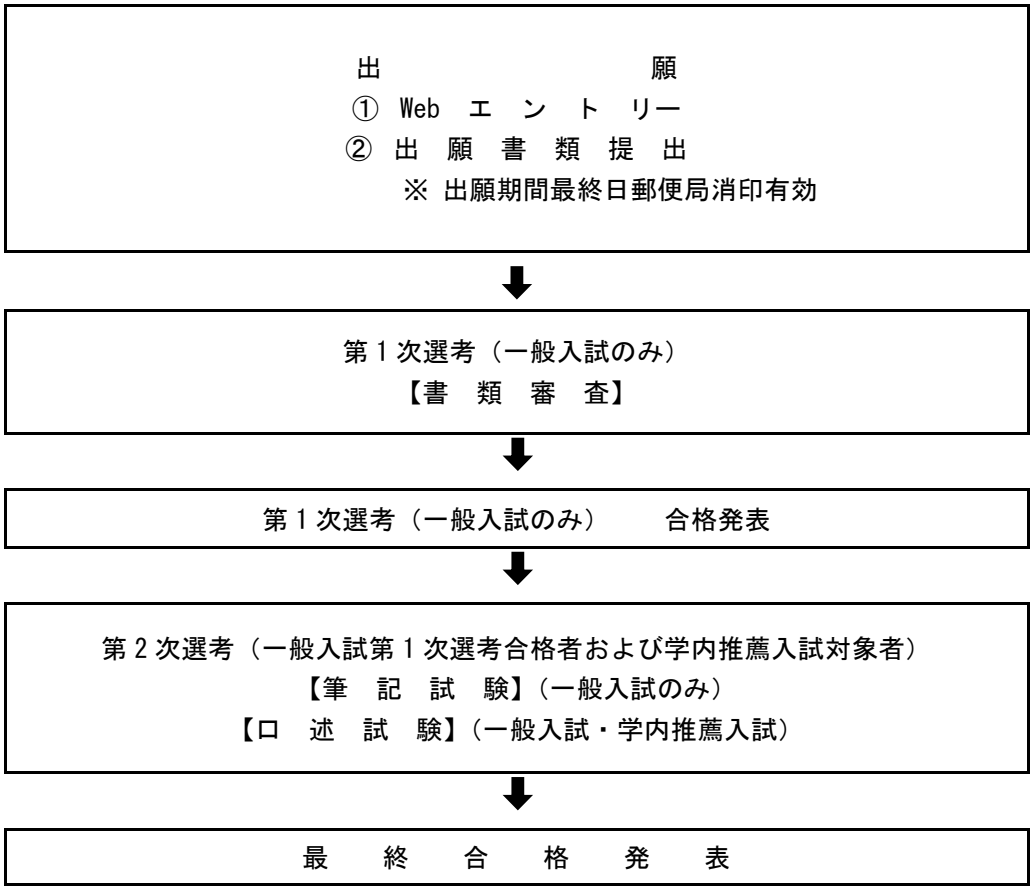
［2］入学試験日程

	一般入試	学内推薦入試
出願期間	2026 年 12 月 18 日（金） ～2027 年 1 月 5 日（火） **【出願期間最終日郵便局消印有効】**	2026 年 12 月 18 日（金） ～2027 年 1 月 12 日（火） **【出願期間最終日郵便局消印有効】**
第 1 次選考 合格発表	2027 年 1 月 15 日（金）18:00 予定	－
第 2 次選考 （筆記・口述試験）	2027 年 1 月 24 日（日）	
最終合格発表	2027 年 1 月 26 日（火）18:00	

※合格発表方法の詳細については、本要項 14 ページ～を参照してください。
期限内に入学手続を行わない場合は、入学が許可されませんのでお気を付けください。

［３］入学試験のプロセス

出願書類には外部から取り寄せる証明書や修士論文等が必要になります。出願を検討している方は、**TOEIC の受験など計画的に準備をするようご注意ください**。なお、出願期間後の不足書類の提出など出願書類の追加等は一切受け付けることはできません。



［４］入学試験について

（１）一般入試

①第 1 次選考

提出された書類を総合的に判断し、第 1 次選考合格者を決定します。

②第 2 次選考

筆記試験(一般入試のみ)および口述試験(一般入試、学内推薦入試)の結果と、第 1 次選考での成績を総合的に判断し、最終合格者を決定します。

第 2 次選考日　　2027 年 1 月 24 日（日）
試 験 会 場　　中央大学駿河台キャンパス
※交通案内はウェブページをご参照ください
※集合時間等の詳細は別途お知らせします。

【筆記試験の概要】

論理的思考力、文章力、表現力をテストします。企業経営にかかわる複数の問題から 1 問を選択し、回答します。試験時間は 60 分です。

【口述試験の趣旨】

出願時に提出された志願者経歴書、研究計画書、提出論文等をもとに本博士後期課程で学ぼうとする意志、研究内容、職業上の経験、論理性、コミュニケーション能力などを確認します。

試験時間は、30 分程度です。

【その他】

1. 第 1 次選考合格発表通知にて本学が指定した試験日時の変更はできません。
2. 本学が指定した時刻に遅刻・欠席した場合は、試験を放棄したものとみなします。
3. 当日は受験票を持参してください。
4. 携帯電話等の通信機器は、試験場内では一切使用できません。試験場内ではカバン等に入れ、必ず電源を切っておいてください。時計としての使用もできません。
5. 車での入構はできませんので、公共交通機関をご利用のうえ来場してください。
6. 第 2 次試験の実施日程に関する電話やメールでの問い合わせは、間違いを生じやすいため、一切受け付けません。

（２）学内推薦入試

①選考（第 2 次選考のみ）

口述試験の結果と提出された書類を総合的に判断して合格者を決定します。

選　考　日　　一般入試と同日

試 験 会 場　　一般入試と同一会場

【口述試験の趣旨】

出願時に提出された志願者経歴書、研究計画書等をもとに本博士後期課程で学ぼうとする意志、研究内容、職業上の経験、論理性、コミュニケーション能力などを確認します。試験時間は、30 分程度です。

【その他】

1. 本学が指定した試験日時の変更はできません。
2. 本学が各自に指定した時刻に遅刻・欠席した場合は、試験を放棄したものとみなします。
3. 当日は、受付にて受験票を確認できるご準備をお願いします。
4. 携帯電話等の通信機器は、試験場内では一切使用できません。試験場内ではカバン等に入れ、必ず電源を切っておいてください。時計としての使用もできません。
5. 車での入構はできませんので、公共交通機関をご利用のうえ来場してください。
6. 第 2 次試験の実施日程に関する電話やメールでの問い合わせは、間違いを生じやすいため、一切受け付けません。

［５］　公正な試験を妨げる行為などへの扱いについて

代理受験や、その他試験監督者の指示に従わず、又は公正な試験を妨げると認められる行為があった場合、また、入学以前に本学学則の懲戒処分事由に相当するに至った場合、審査結果を不合格とするか、もしくは、合格発表後に判明した場合は合格・入学資格を取り消します。

Ⅲ. 出願資格

（１）一般入試

以下項目のいずれかに該当する者で、かつ入学時点で日本の民間企業や行政機関、公益法人等において５年以上の就業経験を有する者

①修士の学位を有する者または取得見込の者(修士論文もしくは準ずる論文のいずれかを提出できる者)

②専門職学位を有する者または取得見込の者(修士論文もしくは準ずる論文のいずれかを提出できる者。なお本研究科修了生は論文*執筆者のみとする。)

③文部科学大臣の指定した者

④修士の学位または専門職学位と同等以上の外国の大学の学位を有する者

⑤外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者

⑥日本国内において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者

⑦本研究科において実施する個別の出願資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24 歳に達した者（2027 年 4 月 1 日現在)、また本研究科修了生で論文*を執筆していない者

*CBS 修了生においては、２０１７年度以前の入学生は研究論文。２０１８年度以降の入学生は論文になります。課題論文や課題研究および、プロジェクトレポートは対象外です。

＜注意＞

1. 上記⑦について、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24 歳に達した者の出願を認めることがありますので、出願資格審査申請書（本学所定用紙）を以下の日程までにご提出ください。出願資格審査申請書提出後、面接を実施する場合があります。 出願資格審査申請書が必要な場合は、以下の要領で中央大学ビジネススクール事務室へ、e-mail にてご連絡ください。
2. 本研究科戦略経営専攻で「課題論文」もしくは「課題研究」および「プロジェクトレポート」を執筆した場合には出願資格審査を受ける必要があります。
3. 修士論文に準ずる論文とは、以下を指します。
   ①修士論文に準ずる論文として執筆したもの
   ②著書または、ジャーナルや紀要に投稿したことがあるもの
   ※上記に相当する論文が提出できない場合は出願前に出願資格審査を受ける必要があります。

【出願資格審査申請書提出締切日（**当日必着**)】 2026 年 12 月 11 日（金）まで

資料請求先フォーム ： https://www.chuo-u.ac.jp/inquiry/form/?id=24

タイトル：「DBA コース 出願資格審査希望」

本文：出願資格審査を希望する旨を記載してください。

【出願資格審査申請書等、原本の郵送先】

出願資格審査書類を出願用封筒（市販の角形２号封筒）に折り曲げずに入れ、上記期限内に提出してください。出願資格審査の手続は郵送での受付とします。速達・簡易書留郵便もしくはレターパックとし、出願資格審査申請書提出〆切日「必着」とします。

【送 付 先】

〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台 3-11-5 中央大学ビジネススクール事務室

※日本国外から出願する場合は、国際宅配業者（EMS 等、追跡可能であること）のラベルに上記住所を記載のうえ、送付してください（出願期間最終日必着)。また出願前に予め、ビジネススクール事務室までご連絡ください。

※『DBA 出願審査書類一式』と郵送物が分かるよう記載してください。

（２）　学内推薦入試（受験時点で修了後 5 年以内の者、2027 年度修了見込の者対象）

本研究科において**「研究論文**※1**」もしくは「論文**※1**」**を執筆した者で（それ以外※2 の本研究科出身者は一般入試での出願となり、かつ「出願資格審査」を受けてください。）入試が実施される時点で本研究科（MBA コース）を修了後 5 年以内の修了者、または 2027 年 3 月修了見込者が出願できます。

※1　2017 年度以前入学生は「研究論文」、2018 年度以降入学生は「論文」

※2　2017 年度以前入学生の「課題論文」、2018 年度以降入学生の「課題研究」も含まれます。

Ⅳ. 出願要領

［１］出願方法（一般入試・学内推薦入試）

（１） Web エントリー「Web 出願フォーム」。以下の URL にて必要事項を入力ください。
https://forms.gle/iK1W457U21AKDPph8

（２） 出願書類の提出。郵送方法は以下のとおりです。

郵送出願先：

〒101-8324　東京都千代田区神田駿河台 3-11-5
中央大学ビジネススクール事務室（戦略経営研究科事務課）

出願書類を一括して速達・簡易書留郵便もしくはレターパックで郵送してください(**出願期間最終日郵便局消印有効**)。
封筒またはレターパックに『DBA 出願書類一式』と郵送物が分かるよう記載してください。
郵送時に郵便局から受領する「書留郵便物受領証等」は必ず保管してください。
※出願期間後の資料の追加等は一切受け付けません。

［２］選考料（一般入試・学内推薦入試）

（１） 選考料は 35,000 円です。

（２） 詳細は最終頁（または HP に掲載）の「中央大学ビジネススクール（大学院戦略経営研究科）専門職大学院 入学試験選考料納入方法」を参照してください。コンビニエンスストアを利用する場合は、「コンビニエンスストアでお支払いの場合」に従い、最後に「入学検定料・選考料取扱明細書」を受け取り、出願書類とあわせてお送りください。

クレジットカードを利用する場合は、「クレジットカードでお支払いの場合」に従い、「収納証明書」のお写真を出願書類とあわせてお送りください。なお、インターネットバンキング・ATM、郵便為替、・テレフォンバンキング等の利用はできません。

（３）一度納入された入学検定料は、出願書類の提出・未提出にかかわらず返還しません。ただし、二重払いなど、誤って多く入学検定料を納入した場合は超過分を返還いたします。返還には１ヵ月以上要する場合がありますのでご了承ください。返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となる場合があります。予めご承知おきください。

［３］出願書類

出願書類の記入にあたっては、以下を参照し、黒の万年筆またはボールペンを用いて正確に記入してください。様式 1～7 については、所定用紙を使用してください。

なお、各提出書類の記入方法については、[4] 出願書類の記載に関する注意点をご参照ください。

（１）一般入試

①納入済証明書提出用紙【本学所定用紙】
②志願者経歴書【様式 1】　※必須
③中央大学ビジネススクール　Web 出願受付証　※必須
④研究計画書【様式 2】　※必須
⑤修士論文または修士論文に準ずる論文【様式 3】　※必須

■修士論文に準ずる論文とは、以下を指します。
①修士論文に準ずる論文として執筆したもの
②著書または、ジャーナルや紀要に投稿したことがあるもの

※上記に相当する論文が提出できない場合は、出願前に出願資格審査を受ける必要があり

ます。出願資格審査の詳細は『Ⅲ. 出願資格』をご覧ください。
⑥修士論文または修士論文に準ずる論文の要旨【様式 4】　※必須
⑦大学院（博士前期／修士／専門職学位　課程）修了証明書および成績証明書　※必須
⑧大学（学部）の卒業証明書および成績証明書　※必須
⑨研究歴・資格等に関する自己申告書【様式 5】　※任意提出
⑩所属機関または出身大学の責任ある職位の者の推薦書【様式 6】　※任意提出
⑪試験実施日から過去２年以内に受験した TOEIC 公開テストの Official Score Certificate　※必須

（２）学内推薦入試
①納入済証明書提出用紙【本学所定用紙】
②志願者経歴書【様式 1】　※必須
③中央大学ビジネススクール　Web 出願受付証　※必須
④研究計画書【様式 2】　※必須
⑤研究歴・資格等に関する自己申告書【様式 5】　※任意提出
⑥研究論文指導教授の推薦書【様式 7】　※必須
⑦試験実施日から過去２年以内に受験した TOEIC 公開テストの Official Score Certificate　※必須

［４］出願書類の記載に関する注意点

(1)「納入済証明書提出用紙」の提出

①コンビニエンスストアをご利用の方は、「入学検定料・選考料取扱明細書」のコピー
②クレジットカードをご利用の方は「収納証明書」のお写真
上記の方法よりご対応いただき、選考料の納入済証明書を納入済証明書提出用紙に添付の上、他の書類とあわせてご提出ください。

(2) 志願者経歴書【「様式１」】

①志願者経歴書には写真（縦 4cm×横 3cm）を 1 枚貼付してください。
②自筆で記入し、以下に従って記入ください。なお、すべての項目について必ず記入してください。

1. 志願者基本情報
それぞれの項目に記入してください。
現在無職の方は、勤務先欄に「無職」と記入してください。
※　出願は、必ず戸籍に記載されている氏名で行ってください。

2. 学歴
高校卒業以降のすべての学歴を記入してください。

3. 修士論文または修士論文に準ずる論文における研究テーマ
修士論文または修士論文に準ずる論文においてテーマとして取り上げた研究内容について記入してください。出願資格審査に合格して出願する方は、出願資格審査の際に提出したレポート等において取り上げた研究内容またはテーマについて記入してください。

4. 希望する指導教授名
博士論文作成にあたって、指導を希望する教授の名前を下記の研究指導担当者一覧から選択して記入してください。**出願に際し、必ず希望する指導教授に指導の了解を事前に得るようにしてください。了解を得ないまま出願された場合、出願を受理できない場合があります。指導を希望する教員が決まりましたら、出願手続きに移る前の段階でビジネススクール事務室にご相談ください。**

＜研究指導担当者一覧＞

※分野別、担当教員名 50 音順

分野	担当教員名	研究テーマ
戦略	犬　飼　知　徳	経営戦略論、経営組織論
	新　藤　晴　臣	コーポレート・アントレプレナーシップ、 戦略的アントレプレナーシップ
	露　木　恵美子	組織論、戦略論、ベンチャー起業論
	遠　山　亮　子	知識経営、イノベーションマネジメント
	真　野　俊　樹	医療経済学、医療経営学
マーケティング	阿　部　誠	マーケティング・サイエンス、消費者行動、行動経済学
	金　雲　鎬	マーケティング戦略、デジタルマーケティング
人的資源管理	島　貫　智　行	戦略的人的資源管理論
	高　村　　静	雇用管理、職場マネジメント、キャリア開発
ファイナンス	石　島　博	サステナブルファイナンス、AI・データを活用した実証分析、企業分析・企業価値評価、不動産ファイナンス、資産運用・ポートフォリオ選択、アセット・プライシング
経営法務	杉　浦　宣　彦	企業法務、金融法、IT 関連法

※　出願に際し、研究指導教員選択にあたり、自身の専門、研究分野と、指導教員との専門、研究分野について不明な点がある場合、**希望する指導教授に指導の了解が得られていない場合**や出願資格審査を受ける場合（修士論文に準ずる論文が提出できない場合）には、次の書類をご準備いただき、事前にご提出ください。各様式については、ビジネススクールウェブページよりダウンロードしてください。

＜事前送付書類＞　①志願者経歴書（様式１）、②研究計画書（様式２）
③出願資格審査提出書類、④その他研究内容がわかる任意の資料等

＜提出先＞　〒101-8324　東京都千代田区神田駿河台 3-11-5
中央大学ビジネススクール事務室　宛

＜提出期限＞　2026 年 11 月 27 日（金）【当日必着】

速達・簡易書留郵便もしくはレターパックで郵送してください。『DBA 出願審査書類一式』と郵送物が分かるよう記載してください。

5. 職歴

勤務先等の名称と担当業務内容（□□会社〇〇課△△担当等）や就業経験の内容を、**直近のものから**記入してください。職歴が多岐にわたる場合は、自らをアピールする上で最適であると志願者が判断した会社について記入し、部署の変更等は一つにまとめるなどして、簡潔に記入してください。

(3)Web 出願受付証（一般入試・学内推薦入試）

Web エントリー「Web 出願フォーム」での受付後、登録いただいたメールアドレス宛にご入力情報が届きますので印刷の上、左上をクリップ止めし提出してください。(ホッチキス不可)

＜Web エントリー「Web 出願フォーム」について＞

※　Web エントリー・出願時は、必ず戸籍に記載されている氏名で行ってください。

(4)研究計画書【「様式２」の表紙をつけること：提出必須】（一般・学内推薦）

後述の「『研究計画書』記入上の注意」を参照し、6400 字程度で記述してください。様式 2 に必要事項を記入し、様式 2 と本文を指定された位置でクリップ留めをしてください（ホチキスで綴じないでください)。

(5)修士論文または修士論文に準ずる論文（一般入試のみ）

【コピー可。「様式３」の表紙をつけること：提出必須】

修士論文または修士論文に準ずる論文は、必ず提出してください。様式 3 に必要事項を記入し、様式 3 と本文を指定された位置でクリップ留めをしてください（ホチキスで綴じないでください)。

なお、修士論文に準ずる論文とは、以下を指します。

①修士論文に準ずる論文として執筆したもの

②ジャーナルや紀要に投稿したことがあるもの、または著書

※上記に相当する論文が提出できない場合は、出願前に出願資格審査を受ける必要があります。出願資格審査の詳細は『Ⅲ. 出願資格』をご覧ください。

※提出された修士論文に準ずる論文が上記に相当しないと判断された場合は、出願資格審査を受けていただく場合があります。その場合はビジネススクール事務室よりご連絡いたします。

(6)修士論文または修士論文に準ずる論文の要旨（一般入試のみ）

【「様式４」の表紙をつけること：提出必須】

論文要旨は、様式 3 にて提出する「論文」の要旨について、A4（ﾀﾃ 40 字×ﾖｺ 40 字） 1 枚を限度として、日本語で作成してください。様式 4 に必要事項を記入し、様式 4 と本文を指定された位置でクリップ留めをしてください（ホチキスで綴じないでください)。

(7)大学院※の修了証明書および成績証明書（一般入試のみ）

【コピー不可：提出必須】※　博士前期/修士/専門職学位課程

①出願時点 **3 ヶ月以内**に発行されたものを提出してください。

②厳封の必要はありません。大学から発行された証明書が厳封されている場合は、厳封から取り出して提出してください。

③改姓等で、証明書と出願書類の姓名が違う場合は、戸籍抄本原本を添付してください。

＜大学院在学中の場合＞

大学院在学中の場合：大学院の修了見込証明書・成績証明書を提出してください。

＜学位授与機構で修士号取得の場合＞

修了証明書、成績証明書に準ずる証明書を提出してください。

(8)大学（学部）の卒業証明書および成績証明書（一般入試のみ）

【コピー不可：提出必須】

①出願時点 **3 ヶ月以内**に発行されたものを提出してください。

②厳封の必要はありません。証明書が厳封されている場合は、厳封から取り出して提出してください。

③改姓等で、証明書と出願書類の姓名が違う場合は、戸籍抄本原本を添付してください。

(9)研究歴・資格等に関する自己申告書（一般入試・学内推薦入試）

【「様式５」の表紙をつけること：提出任意】

研究歴・資格等に関する自己申告書は任意提出です。審査において加点評価することはありません。研究歴や資格等、自己アピールできるものがある場合は、様式 5 に詳細を記入の上、番号順にクリップ留めをし、ばらばらにならないようにして提出してください。**なお、提出された証明書類は返却いたしません。**認定機関より証明書が発行できない資格をアピールしたい場合は、認定証や合格証のコピーを添付しても構いません。ただし、**面接試験の際、原本の提示を求められる場合がありますので、面接試験当日に持参いただくようお願いいたします。**

(10) 推薦書【「様式６」：提出任意】（一般入試のみ）

推薦書は任意提出です。審査において加点評価することはありません。様式 6 に推薦内容を記入してください。

(11)研究論文指導教授の推薦書【「様式 7」：提出必須】（学内推薦入試のみ）

学内推薦入試受験者は研究論文指導教授の推薦書は提出必須です。

(12)TOEIC の公式スコア【提出必須】（一般入試・学内推薦入試）

TOEIC の公式スコアは提出必須です。試験実施日から過去２年以内に受験した TOEIC 公開テストの Official Score Certificate をご提出ください。なお、提出された Official Score Certificate の返却が必要な場合は、様式 5 を利用し、返却希望欄に〇をしたうえで、送付先住所・氏名を記入した返信用封筒（**切手不要**）を同封してください。原本照合後、返却いたします。返却希望欄に〇がない場合は、返却いたしませんので、ご注意ください。

【注意】

１．　出願締切日までに出願書類に同封して提出された書類を有効とし、出願後の追加提出等は受け付けません。

２．　一度提出された出願書類（様式 5 に添付した資格証明書等の原本は除く）は返還しません。

３．　提出された書類に重要事項の不記載、虚偽記載や変造があることが判明した場合は、合格または入学を取り消します。

４．(7) (8)については、本研究科戦略経営専攻を修了後 5 年以内の修了者、もしくは修了見込の方は提出不要です。

［５］出願書類提出一覧

※◎：必須提出　△：任意提出　×：提出不要

	提出区分	
	一般入試	学内推薦入試
(1) 納入済証明書貼付用紙	◎	◎
(2) 志願者経歴書	◎	◎
(3) Web 出願受付証	◎	◎
(4) 研究計画書	◎	◎
(5) 修士論文または修士論文に準ずる論文	◎	×
(6) 修士論文または修士論文に準ずる論文の要旨	◎	×
(7) 大学院（博士前期/修士/専門職学位課程）の修了証明書および成績証明書（コピー不可）	◎	×
(8) 大学（学部）の卒業証明書および成績証明書（コピー不可）	◎	×
(9) 研究歴・資格等に関する自己申告書	△	△
(10) 推薦書	△	×
(11) 研究論文指導教授の推薦書	×	◎
(12) TOEIC の公式スコア（コピー不可）	◎	◎

［６］受験票の送付（一般入試・学内推薦入試）

受験票は、出願書類を受理、確認を行った後、面接試験の時間等が決定次第、試験日の 1 週間～4 日前を目安に出願フォームにご登録いただいたメールアドレスへ順次送付いたします。

試験当日の受付にて受験票を確認できるご準備をお願いします。試験実施 3 日前になっても受験票が届かない場合は、中央大学ビジネススクール事務室に問い合わせてください。

［７］受験および修学上特別な配慮を必要とする場合（一般入試・学内推薦入試）

身体の機能に障害があり、受験および修学上特別な配慮を必要とする方は、**出願前（選考料を金融機関等から振り込む前）**のなるべく早い時期に中央大学ビジネススクール事務室に問い合わせてください。また、大きな病気や怪我のため、受験に支障をきたすおそれがある方については、それが万一出願後に起こった場合でも、直ちに連絡してください。

Ⅴ．合格発表と入学手続

［１］合格発表

⑴第 1 次選考合格発表（一般入試のみ）

①合格発表は、**合格発表日の１８時より、**オンラインで実施いたします。合否の確認方法については、合格発表日の 18 時ごろにメールでご案内致します。

②第 1 次選考の合格者には合格通知と同時に第 2 次選考のご案内をお送りします。

③合格・不合格の通知が合格発表日から数日を経過しても到着しない場合は、中央大学ビジネススクール事務室に問い合わせてください。合格通知の不着・遅着を理由とした第 2 次選考の再実施は行いません。

⑵最終合格発表（一般入試・学内推薦入試）

①合格発表は、**合格発表日の１８時より、**オンラインで実施いたします。合否の確認方法については、合格発表日の 18 時ごろにメールでご案内致します。

②合格者には合格通知と入学手続書類をレターパック等の送達過程を記録できる形式で郵送します。

③合格・不合格の通知が合格発表日から 3 日を経過しても到着しない場合は、中央大学ビジネススクール事務室に問い合わせてください。入学手続書類の不着・遅着ならびに本人による未確認を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認めません。

⑶その他

①合格、不合格に関わらず、合否の結果を受験者全員に郵送します。

②電話やメール等による合否や試験結果に関する問い合わせは、一切受け付けません。

③追加合格を発表する場合（入学手続状況により欠員が生じたとき）は、入学申込手続（Ａ手続）締切日の後に、該当者にのみ合格通知と入学手続書類を郵送します。

［２］入学手続（一般入試・学内推薦入試）

入学手続は、合格者に交付する「入学手続要項」に基づいて行ってください。入学手続は、以下のとおり 2 段階に分けて行います。

（1）入学申込手続

入学金相当額の入学申込手続金を以下の所定の期限までに納入し、所定の手続書類を提出してください。

手続種類	手 続 期 限	備　考
入学申込手続 （A手続）	2027年2月4日（木）	この入学申込手続金は、入学完了手続を完了した場合は、入学金に充当します。

（2）入学完了手続

入学完了手続金を、以下の所定の期限までに納入し、所定の手続書類を提出してください。

手続種類	手 続 期 限	備　考
入学完了手続 （B手続）	2027年2月12日（金）	入学申込手続金を除く2027年度前期学費

※入学手続については、本学所定の振込用紙を使用しての、金融機関窓口での振込が必要となるためご注意ください。（ネットバンキング、ATM による振込はできません）。

Ⅵ. 学費と奨学金

［1］学費

2027 年度入学生の初年度学費は、以下のとおりです。

（単位：円）

費　目	納入金額
入　　学　　金	300,000
在　　学　　料	1,250,000
施設設備費	300,000
合　　計	1,850,000

＜注意＞

1. 入学金は 2 年次から不要です。
2. 入学金（入学申込手続金）は理由の如何を問わず返還しません。
3. 本学学部を卒業し、他学の修士課程または博士前期課程、専門職学位課程を修了して本学の博士課程に入学する場合は、入学金の半額を免除します。
4. 本学の博士前期・修士課程を修了した者が、博士後期課程に入学する場合は、入学金の全額並びに在学料及び施設設備費の半額を免除します。
5. 本学の専門職学位課程を修了した者が、博士後期課程に入学する場合は、入学金の全額並びに在学料及び施設設備費の半額を免除します。
6. 本学の博士後期課程を修了した者が、新たに本学の博士後期課程に入学する場合は、入学金の全額並びに在学料及び施設設備費の半額を免除します。
7. 本学博士後期課程に 3 年在学し、修了に必要な単位を修得した者が、学位論文の指導を受けるため引き続き在学する場合は、申請により在学料の半額を免除します。ただし、本学博士前期・修士課程、専門職学位課程または博士後期課程から博士後期課程に入学した者で、すでに在学料および施設設備費の半額減免を受けている者には適用しません。
8. 本学の入学手続完了後に、入学の辞退を希望し、指定の期日までに所定の手続で届け出をした者には、入学金を除く学費を返還します。詳細は合格者に送付する「入学手続要項」を参照してください。

【初年度（2027 年度）納入金額・納入期限一覧】

（単位：円）

	納　入　期　限		納入金額	
前期納入分	入学申込手続金（A手続）	2027年2月4日（木）	300,000	入学金相当額
	入学完了手続金（B手続）	2027年2月12日（金）	775,000	在学料および施設設備費前期納入分
入学手続時納入額合計			**1,075,000**	
後期納入分	2027年10月25日		775,000	在学料および施設設備費後期納入分
初年度納入額合計			**1,850,000**	

※学費は、通年の費用を半期毎の分納となっています。

Ⅶ.　その他

(１)2027 年度入学試験出願書類により収集した個人情報の取扱いについて

中央大学では、出願の際に提出される志願者経歴書等の書類に記載されている個人情報については、中央大学公式 Web サイトに掲載されている「個人情報の取扱いについて」に基づき、①入学試験実施（出願処理・試験実施）　②合格発表　③入学手続　④各種統計処理を行うために利用します。また、上記利用目的のために、個人情報の一部の取扱いを、個人情報の取扱いに関する契約を締結したうえで外部業者に委託することがあります。

①戦略経営研究科ビジネス科学専攻（博士後期課程）に出願しようとする方は、上記の記載内容に同意した上で出願してください。

②戦略経営研究科ビジネス科学専攻（博士後期課程）入学試験にかかる個人情報の取扱いについてのお問い合わせは、中央大学ビジネススクール事務室へお願いします。

(２)入学試験合格者が入学以前に本学学則の懲戒処分事由に相当するに至った場合、その入学資格を取り消すことがあります。

(３)試験実施に関して

①試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他医師において伝染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。

②自然災害や不測の事態により、所定の日程通りに入学試験等を実施することが困難であると本学が判断した場合、試験時間の繰り下げ、試験の延期、試験会場の変更等の対応措置をとることがあります。ただし、このことに伴う受験者の個人的損害について本学は責任を負いません。これらの対応措置を講じる場合は中央大学ビジネススクール Web サイト（https://www.chuo-u.ac.jp/academics/pro_graduateschool/business/）に掲載しますので、確認してください。

Ⅷ.「研究計画書」記入上の注意

A4(タテ 40 字×ヨコ 40 字)4 枚（6400 字程度）を限度としてその字数以内で、以下書式（図）を参照して記述してください。記述後は、様式 2 を表紙として左上をクリップで留めてください。(手書き不可)

1. これまでの活動記録および実績
   現在の職種・ポジション等についても具体的にお書きください。また、今までの職歴を踏まえて、これまでの経験の中から得られた教訓、ノウハウ、問題意識等があればそれも併せて記述してください。

2. 志願理由
   中央大学大学院戦略経営研究科ビジネス科学専攻（博士後期課程）を志望する理由について、本研究科修了後のキャリアプランを併せて記述してください。

3. 研究計画
   （１）博士論文で取り上げたい研究テーマについて記入してください。
   （２）（１）の研究テーマについて、現時点でのあなたの理解、関心、問題意識などをふまえて、研究計画を説明してください。

研究計画書

氏名　〇〇　〇〇

1. 活動記録および実績
   〇〇〇〇

2. 指導を希望する教授名、本学を志願した理由
   〇〇〇〇教授
   〇〇…

3. 研究計画
   (1)（例）企業における戦略論について
   (2) 〇〇〇〇

以　上

Q&A

Q1. 任意書類を提出した場合、選考の段階で加点されますか。

出願提出書類のうち、任意提出とされているものは採点の対象となりません。提出された場合は、自己 PR の基礎資料として取り扱います。

Q2. 資格証明書類の提出は必要ですか。

資格の証明書類は、任意提出書類となります。様式５「研究歴・資格等に関する自己申告書」（任意提出）に資格を記入した場合は、証明書類（原本）を添付してください。提出方法詳細は、「Ⅳ.出願要領」をご覧ください。

Q3. 学位についてはどのような選択が可能ですか。

本研究科博士後期課程を修了した者には、博士（経営管理）の学位が授与されます。
ただし、研究テーマ並び分野に鑑みて、博士（学術）の学位が授与される場合があります。
学位の授与については、教授会における審議を経て決定されます。

Q4. 修士論文、修士論文に準ずる論文、いずれも執筆したことがないため提出ができません。受験は可能ですか。

修士論文および修士論文に準ずる論文のいずれも提出できない場合は、出願資格審査を受けていただく必要があります。詳細は、「Ⅲ.出願資格」をご覧ください。

Q5. 他大学（もしくは本学他研究科）の博士後期課程で修得した単位は認定されますか。

戦略経営研究科ビジネス科学専攻（博士後期課程）においては、入学前に他大学や中央大学の他研究科博士後期課程において修得した単位の認定は行っておりません。したがって、入学後はカリキュラムに定められた所定単位数を修得する必要があります。

Q6. 指導教授を選択するタイミングはいつ頃ですか。

指導教授は入学後に、所定の手続を経て決定いたします。ただし、出願前に必ず希望する指導教授に指導の了解を得るようにしてください。了解を得ないまま出願された場合、出願を受理できない場合があります。

Q7. 推薦書は大学（院）の指導教員からのものでも良いですか。

一般入試については、推薦書は任意提出書類です。出願者の人物保証を目的としており、推薦者の指定は特にありませんので、推薦書の趣旨に同意していただける方に記載を依頼してください。
なお、学内推薦入試については、研究論文指導教員の推薦書が必須となります。

Q8. 修士論文はコピーで提出することは可能ですか。また、返却はされますか。

修士論文のコピーを提出することは可能です。一旦提出された書類は返却されませんので、出願前にはコピー等をお手元に保管することをお勧めいたします。

Q9. 研究指導を希望する教員が決まっていない場合でも受験はできますか。研究指導を希望する教員が決まっていない場合でも受験はできますか。

自身の専門、研究分野と、指導教員との専門、研究分野について不明な点がある場合や、希望する指導教授に指導の了解が得られていない場合、出願を受理できない場合があります。指導を希望する教員が決まりましたら、出願前の段階でビジネススクール事務室にご相談ください。